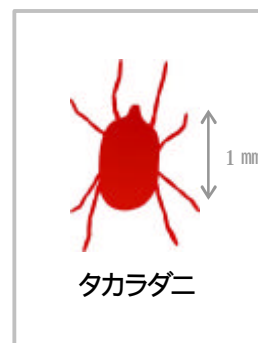




## 桜の後には・・・ダニ！？

満開の桜の下、この時期限定のお花見を満喫されたでしょうか？ やっと咲き始めた桜はあっという間に散ってしまい、すぐに目に鮮やかな緑の若葉に取って代わってしまいます。花の命は、本当に短いものですね。さわやかな気候になるこの時期に、屋外で過ごすことは気持ちの良いものです。散歩やガーデニングなど、屋外で過ごす機会も増え、普段あまり注意せずに見ていた家の外壁やコンクリートの門壁、ベランダなどに赤い無数の点々を発見するかもしれません。「この赤い点々、動いてる！ よく見たらムシではないか！」と驚かれるのでは。この時期に日当たりの良い壁面などに良く見られる赤いムシは、『タカラダニ』です。赤い色だけでなく、突然かつ大量に発生する点からも目につき、不気味で不快感をおぼえるかもしれません。しかし、このダニは人を刺すことはなく、不快感以外の害と言えば、このダニを潰してしまい体液が赤いしみとなって付着することぐらいです。『タカラダニ』は、この時期だけの一時的な発生ですが、屋内へ侵入することもあります。『タカラダニ』駆除のご相談は弊社HPからご連絡ください。



タカラダニ

(編集部)

## 終わっていない鳥インフルエンザ

豊橋市でウズラから高病原性鳥インフルエンザが検出されてから、既に1ヶ月以上が経過しました。しかし、愛知県による防疫措置に手を休める時間はありません。今回、ウズラから検出されたウィルス(H7N6)は弱毒性でした。「弱毒性ならそこまで警戒しなくてもよいのでは？」と感じる方もおられるかもしれませんが、そうとは限りません。そもそもヒトに感染するインフルエンザウィルスは、鳥インフルエンザが変異したものであると考えられています。従って、鳥インフルエンザウィルスはいくら弱毒性であっても人に感染する新型ウィルスに変異し、パンデミックになる可能性が否定できないからです。(社)愛知県ペストコントロール協会は、感染拡大防止の防疫措置の一環として、愛知県畜産課より家禽と卵、飼料などの移動制限区域内外へ出入りする車両の消毒殺菌業務を請け負っています。(株)帝装化成も同協会の感染症予防衛生隊(T

EAMS)の一員として消毒殺菌作業に参加しています。私自身も業務に参加いたしましたが、早朝から夕方まで制限区域内に出入りする全ての車両が消毒殺菌の対象となるため、落ち着いて休むことが出来ないうらい非常に大変なものでした。しかし、防疫作業をしている私たちよりも、常にウィルスの人への感染を恐れながら、ウズラの殺処分で大量にウズラを失った養鶏業者や、「自社のウズラも感染しているのでは？」と不安に怯えている現場周辺の養鶏業者の苦労は計り知れないほど大きいものだと思います。また、養鶏業者は県に補償を求めたり、風評被害への対策を行ったりと、早く経営を立て直すため努力をされているようです。私としては、これ以上の被害拡大が阻止され、養鶏、養鶏業者の不安をいち早く取り除く処置がされればと感じました。

(技術部 熊崎)



農林水産部園芸農産課 特産グループ

HPより